

令和7年度 学校教育全体計画

1 学校教育目標

自律の精神の確立と主体的に学ぶ生徒の育成

- 自 律 ⇒ 社会のルールに則って、自らの発言や行動を適切に律すること
- 主体的 ⇒ 自分の意志・判断に基づいて行動すること

2 学校経営方針

【ミッション】(自校の使命)

社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成

【ビジョン】(自校の将来像)

生徒が安全で安心して有意義に過ごせて、社会人としての資質・能力を身に付けられる学校

○安全で安心して ⇒ 嫌な思いをしないで、心配事もなく、学校生活が送れる。

嫌なことがあっても、みんなできちんと解決できる。

自分の思いや考えを安心して表現できる。

○有意義に過ごせて ⇒ 授業を受けて、「わかる」「できる」を実感して楽しいと思う。仲間と共に、学校行事・部活動を行い、「達成感」「充実感」を感じて楽しいと思う。

○社会人としての資質・能力 ⇒ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等

3 めざす学校像

- 安全で安心して有意義に過ごせる学校
- 笑顔を忘れず、明るく温かく人に接し、「ありがとう」があふれる学校
- 夢を志に高める学校
- 自信を持ち光り輝いて行動し、活力のある学校

4 めざす生徒像

- 何事にも果敢に挑戦し、わからなくてもできなくても粘り強く取り組み、最後まで諦めない生徒
- 誰にでも明るく笑顔で接し、心温かく行動する生徒
- 向上心を常に持ち、夢を志に高める生徒
- 自分に自信を持ち、主体的に行動し、光り輝く生徒

【育成をめざす資質・能力】

知識及び技能、思考力、コミュニケーション能力、主体性、自らへの自信

5 めざす教職員像

- 生徒の手本となる教師。生徒に求めることは自らも行う。(挨拶、対話、挑戦等)
- 生徒に、少しでも「わかる」「できる」を実感させるため、積極的に授業改善を行う教職員
- 豊かな人間性と高い倫理観を備え、教育実践に努める教職員
- 志を高く持ち、達成に向けて自分の強みを生かし果敢に挑戦し続ける教職員
- やりたいこと、できること、すべきことを統合し、生きがいを持って職務にあたる教職員

6 令和7年度の重点

- (1) 授業改善による確かな学力の定着と学力向上

①「本郷中スタンダード」(授業モデル)の活用

→○学習環境の整備

○学習意欲を引き出す導入の工夫

○めあての提示(見通しをもたせる)

○話合いの充実のための手立ての実施

・話合いの場面の工夫(人数、役割分担、机間指導等)

・教師のファシリテート力の向上。(説明を少なくし、生徒の活動場面(書く場面・表現する場面・ペアや少人数グループ)を設定する。(めあてを達成させるために)

○めあてに対するまとめ(自分の言葉で表現)をする。

○振り返りの実施・充実。R80の充実

②「主体的な学び」の実施 → 「課題発見・解決学習」の実施・改善

③ ICT機器の活用 → クロームブックの効果的活用

④「家庭学習」の充実 → 「本G0ノート」の効果的な活用と統一した組織的な取組
学ぶ目的意識をもたせ、学習時間と学習内容の向上
学年団での各教科における学習課題の共有、調整

⑤「研究授業」の実施 → 1人1研究授業(指導主事等の指導者招聘)

研究テーマ 「生徒が自律的に学びに向う授業づくり

～「対話」と「振り返り」の充実を通して～」

(2) 学校生活全般での積極的な生徒指導

①生活三訓の徹底

「挨拶をしよう」 → レベル3(自分から会釈して)
授業の始め終わり(先言後礼)

「時間を守ろう」 → 朝遅刻ゼロ
着ベル(教師は鳴る前に教室へ)
全校朝会(無言集合)

「身辺服装を整えよう」 → 自転車置き場「日本一」
靴箱 ロッカー トイレのスリッパ
定期的な身なり検査

②学習規律の徹底

「黙想」の徹底 → 立腰をさせる。粘り強く指導。

「学習態度」の指導 → 寝る・伏せる・肘をつく・私語

③自治的活動の推進

「生徒会活動」の活性化 → 挨拶運動
自律的点検活動(勉強時間・スリッパ・牛乳…)

「ボランティア活動」への参加 → 献血・河川清掃・小中合同地域清掃…

④相談活動の推進 → 学期毎のいじめアンケート実施後、担任との面談時間の確保
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる個人面談、教職員との情報共有、関係機関との連携

⑤組織的な生徒指導体制の徹底 → 生徒指導主事に情報を集め、管理職への報告・相談し、
組織としての方向性を確認して、取組や指導を行う

⑥集団づくりの推進 → 互いに認め合い、高め合う学級・学校集団づくり